

第3章

人の活力と地域の魅力で にぎわいをつくるまち

（産業経済）



秩父夜祭

政策1 就労対策の推進

現状と課題

- 雇用・就労の面では、人口減少や都市部への労働力の流出に伴う慢性的な人手不足、経営者の後継者不足などが課題となっています。
- 市内の企業の多くが小規模事業者であり、労働環境の整備が十分とはいえない状況にあります。
- 安定した労働力の確保のためには、魅力ある働き場所の確保や企業の求める人材と求職者とのマッチングが大切です。

現況データ

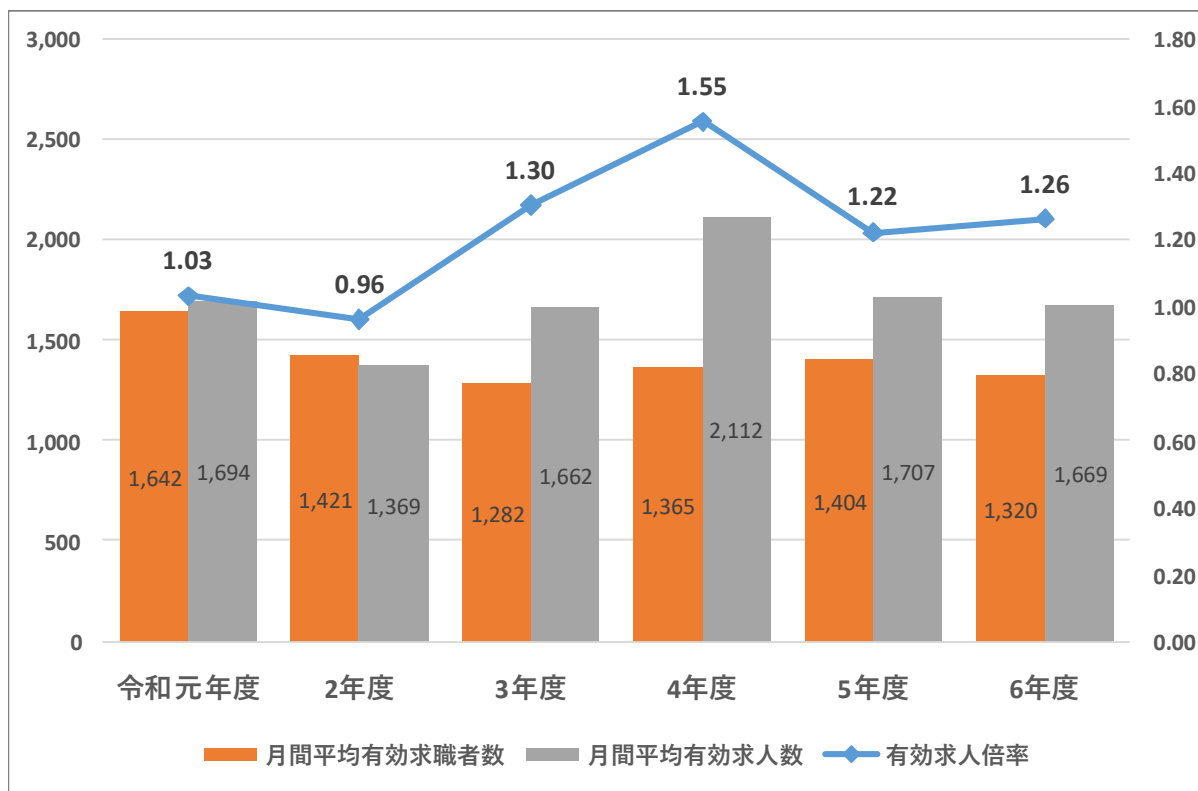


図7 有効求職者数・有効求人数・有効求人倍率の推移(ハローワーク秩父管内)

施策の方向性



(1)労働環境の充実

- 就業者が安全に、安心して働ける職場環境づくりのため、雇用環境の改善や働き方改革などの必要性について、関係機関と連携し啓発に取り組みます。
- 勤労者に対する融資制度の充実、雇用の安定と勤労者の福祉の増進を図ることを目的とした退職金制度である中小企業退職金共済等掛金の補助等を実施し、市内企業の福利厚生を充実させていきます。

(2)雇用の促進

- 多様な就労ニーズに対応するため、国や県、近隣自治体と連携し、きめ細やかな就労支援を行います。
- 地域の活力を高めるため、女性やシニアを含むすべての人が働きやすく魅力を感じられる就労機会の安定的な創出、雇用環境の改善を目指します。
- 市内学校におけるキャリア教育を推進し、職業に関する知識を身に付けるとともに、職業意識の啓発や市内優良企業に対する理解を深める機会を創出します。

施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
中小企業退職金共済等掛金補助件数	27件(R6)	20件	20件	20件	20件
有効求人倍率(全国)とのポイント差(※)	+0.01(R6) (秩父 1.26 倍、 全国 1.25 倍)	±0.00	±0.00	±0.00	±0.00

※近年、生産年齢人口の減少の影響等による人手不足により、全国平均に比べ高い数値となっておりますが、高い数値が好ましい状態とは言えないため、全国平均に近い数値となることを目標とします。

政策2 商工業の振興

現状と課題

- 人口減少や経営者の後継者不足により事業所数が減少しており、企業立地の推進によって新たな雇用の創出や付加価値の高い事業を生み出す企業の誘致、創業及び事業承継の支援が求められています。
- 中心市街地においても、担い手不足による空き店舗の増加を防ぐ取組、まちなかの回遊促進を図るための商店街間の更なる連携が求められています。
- ドローンをはじめ、AI、IoT、自動運転等の先端技術を活用した地域の課題解決と新たな産業創出に取り組んでいます。

現況データ

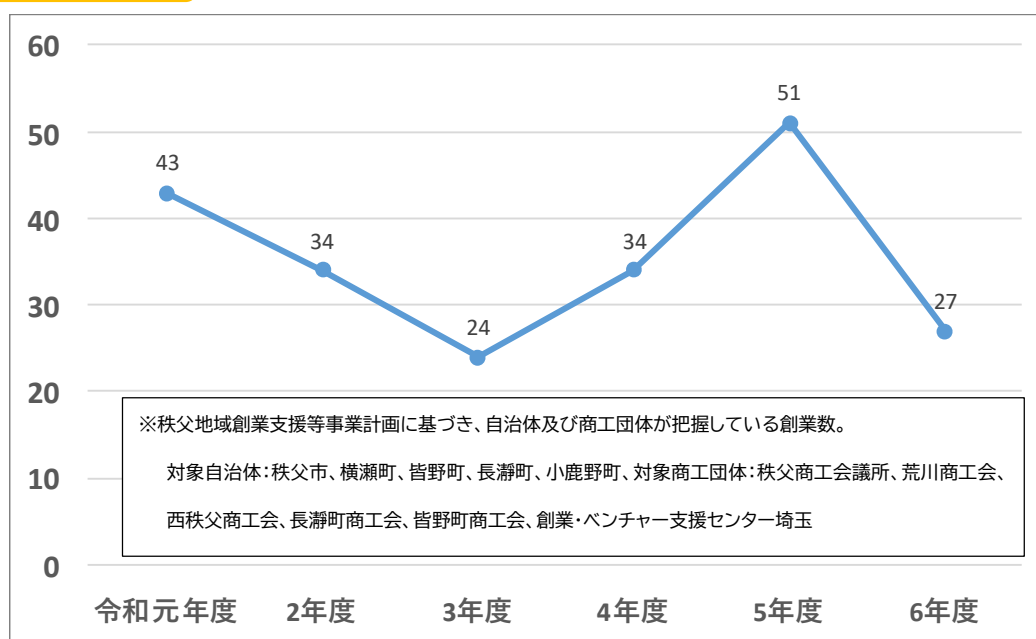


図8 秩父地域における創業者数(※)の推移(人)

施策の方向性

(1) 商工業事業者の支援

- 企業の事業拡大・持続性向上に貢献、新事業の創出を推進するとともに、最新技術の産業やデジタル人材の育成に取り組み、若者が住みたい、住み続けたいと思う魅力ある地域を目指します。



第3章 人の活力と地域の魅力でにぎわいをつくるまち（産業経済）

- 創業支援、事業承継支援を包括的に実施し事業所数の減少を抑え、持続可能な地域産業の構築を目指します。

(2) 中心市街地の活性化

- 中心市街地活性化イベントを支援し、中心市街地の賑わい創出を促します。
- 空き店舗対策補助金制度により中心市街地での出店を後押しすることで、商店街をさらに元気にします。
- にぎわい創出の相乗効果を狙うため、商店街間の更なる連携を支援し回遊できる街づくりを進めます。

(3) 先端技術によるスマートシティの推進

- データ連携基盤を活用した様々なデータの連携や活用のための環境整備を目指します。
- 平成29年から進めてきたドローン事業に関しては、産学官金民の連携による「秩父市ドローン社会実装コンソーシアム」を中心にドローンなどの先端技術を活用した地域課題の解決を目指します。

(4) 企業立地の推進

- 都心からのアクセスの良さ、豊かな自然環境、地盤の固さや水災害に強い地域特性を生かし、企業の誘致を目指します。
- 県内トップレベルの優遇支援制度を生かし、新たな企業を誘致し地域経済の活性化を目指します。
- スタートアップ企業や先端技術分野の企業を誘致し、若者が活躍できる雇用創出と魅力的な企業が集積するまちづくりを目指します。

施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
企業立地の件数 (新設または増設)	1件(R6)	1件	1件	1件	4件 (R8~R11 累計)
創業件数	27件(R6)	20件	20件	20件	20件
創業サポート利用者数	86人(R6)	80人	80人	80人	80人
空き店舗対策補助金利用件数	2件(R6)	2件	2件	2件	2件

政策3 観光産業の振興

現状と課題

- メディア露出が増え観光客数も増加していますが、以前から日帰り観光客の割合が多く、宿泊者が少ない状況です。
- 従来訪れていた中高年に加え、若年層の観光客も増えてきましたが、他自治体と比較し外国人観光客数が伸び悩んでいます。
- 一度だけでなく、何度も訪れてくれる「リピーター」獲得が観光産業の発展に向けた重要な課題となっています。

現況データ

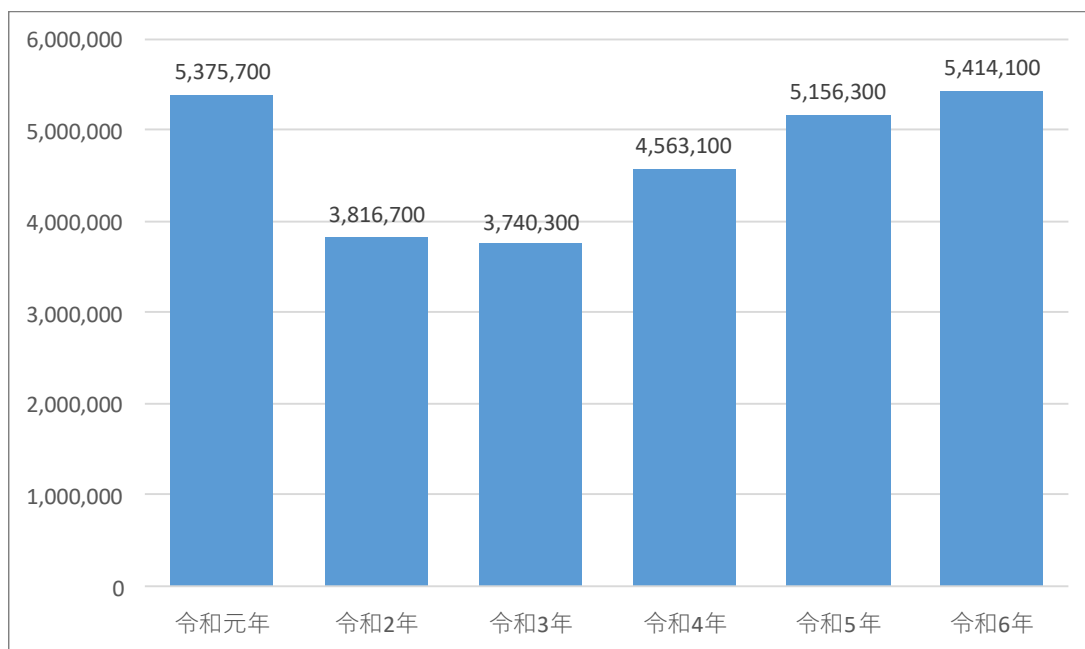
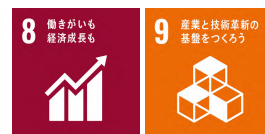


図9 秩父市入込観光客数の推移(人)

施策の方向性



(1)観光誘客の推進

- 夜型のイベントや新たな事業展開により、滞在時間が延び、一人当たりの消費単価も向上する宿泊観光客の増加を目指します。
- 鉄道事業者や観光関連事業者との連携を強化し、豊かな自然、歴史、アニメ、地酒やグルメなどの食文化、パワースポットなど秩父特有の豊富な観光コンテンツを効果的にPRし、さらなる観光客増加を目指します。
- 外国人観光客を対象としたパンフレット作成等、インバウンドの拡充に取り組みます。

(2)観光産業の育成

- 情報デバイスの多様化に対応したきめ細かな情報の提供・発信を実施します。
- 豊富な観光コンテンツを生かした様々な楽しみ方を提案し、何度来ても楽しめる観光地としてのイメージ確立を図ります。

施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
秩父市の 入込観光客数	5,414,100 人(R6)	5,800,000 人	6,000,000 人	6,200,000 人	6,400,000 人
秩父地域外国人 入込観光客数	50,700 人(R6)	100,000 人	130,000 人	160,000 人	200,000 人

政策4 農林水産業の振興

現状と課題

- 農業就業人口の減少傾向や高齢化が著しく、自家消費型農家が多数を占める状況です。後継者不足、鳥獣被害の発生などにより生産環境は厳しく、遊休農地や耕作放棄地などが見られます。
- 農作物生産者や買受人の減少に伴い、公設地方卸売市場での取引数量も減少しているため、厳しい経営状況となっています。また、市場施設の老朽化が進んでいます。
- 森林整備を進めるうえで、小規模零細な所有構造、境界不明瞭、担い手不足、木材価格の低迷等が大きな課題になっています。

現況データ

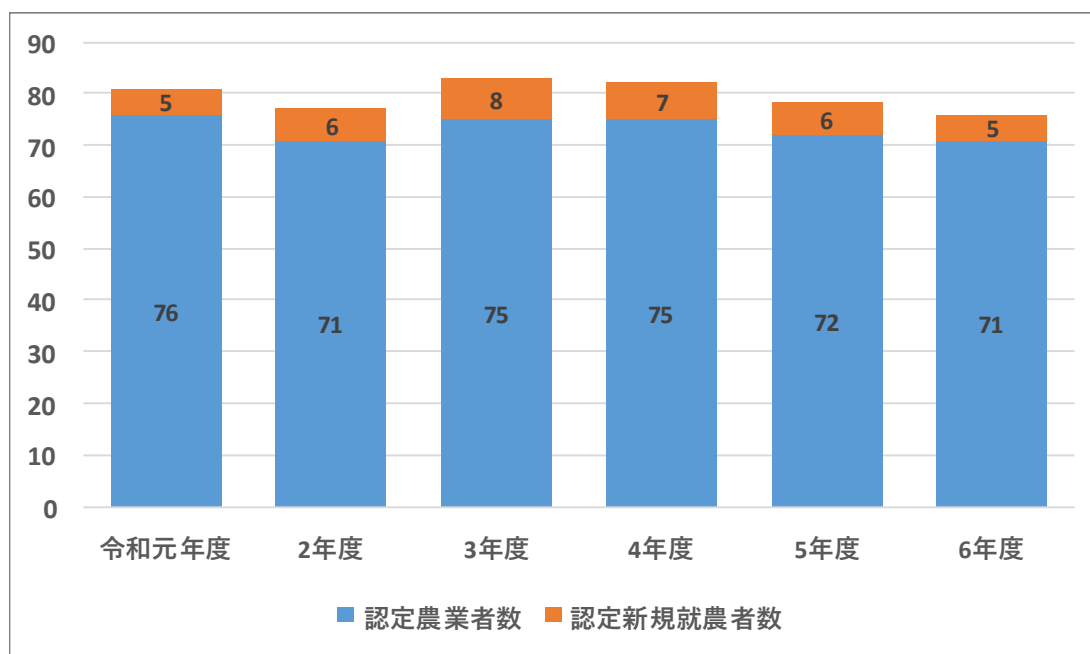


図 10 認定農業者数と認定新規就農者数(人)

施策の方向性



(1) 農業水産業の育成支援

- 農作物の付加価値を高めることで、耕作意欲の向上を図り、魅力ある農業経営の確立を目指します。
- 担い手の育成や農地の有効活用により、遊休農地の解消を目指します。
- 公設地方卸売市場の経営状況は厳しい一方、市場の存続を望む生産者や買受人は多いため、市場の在り方の検討を継続します。
- 防除対策と有害鳥獣捕獲を両輪とする複合的な取組を通じて、有害鳥獣対策を効果的に実施し、生産意欲の向上と地域農業の活性化を図ります。

(2) 森林・林業・木材産業の育成と森林保全

- 森林の集約化等による森林整備や森林・林道等の適切な管理、林業事業体や自伐型林業等の担い手育成、木材利用の推進により、森林の多面的機能の発揮と林業・木材産業の振興を目指します。

施策の目標値

達成指標	現状実績	R8	R9	R10	R11 目標
認定農業者・ 認定新規就農者数	76人(R6)	80人	82人	84人	86人
農作物被害金額	1,404万円	1,200万円	1,100万円	1,000万円	900万円
森林整備面積（※）	216ha(R5)	246ha	256ha	266ha	276ha

※秩父の森林・林業と統計(埼玉県秩父農林振興センター)による

第3章 人の活力と地域の魅力でにぎわいをつくるまち（産業経済）